



## 座光寺風景

## 元善光寺の善心光梅

樹齢150年高さ10メートルの梅の木で、2009年に一般から愛称を募り元善光寺の開祖本多善光公の名前の2文字と、今の荒廃した世を洗い流し梅の花のように善の心で更に輝くようにとの意味を込め命名されました。

二月五日、座光寺地域文化祭において小学校学習発表会と麻績の里体験学校発表会が開催されました。

小学校学習発表会では、座光寺小学校四年生が、飯田の伝統産業であるお菓子産業についてと座光寺地域の史跡・旧跡について、五年生が座光寺地域の野鳥観察とふくろうの保護活動について学習発表をしました。資料の調査だけではなく、子供達が実際に現場取材をしたり、野鳥の生息分布調査をしたり保護活動を実践したりと、それぞれに内容の濃い発表でした。スライドを使いクラス全員が参加しての発表は、見る側も楽しく一生懸命さが伝わりました。

続いて公民館健全育成部が主催している麻績の里体験学校について、参加した子供達の代表二十四名が感想を発表しました。地域の方々にも麻績の里体験学校について知つていただきたいという思いと、一年間頑張った子供達の終了式も兼ね今年度初めて発表会を行いました。スラ

二月五日、座光寺地域文化祭において小学校学習発表会と麻績の里体験学校発表会が開催されました。

小学校学習発表会では、座光寺小学校四年生が、飯田の伝統産業であるお菓子産業についてと座光寺地域の史跡・旧跡について、五年生が座光寺地域の野鳥観察とふくろうの保護活動について学習発表をしました。資料の調査だけではなく、子供達が実際に現場取材をしたり、野鳥の生息分布調査をしたり保護活動を実践したりと、それぞれに内容の濃い発表でした。スライドを使いクラス全員が参加しての発表は、見る側も楽しく一生懸命さが伝わりました。

# 小学校学習発表会と 麻績の里体験学校発表会

公民館健全育成部 部長 星野利宏

◆ お世話になつてきた地域の方々に発表を聞いていただくことができ、うれしかつたです。これからもふるさと座光寺の自然を大切にしたいと思いました。  
(五年 竹下優海)

◆ クラスのみんなで一生懸命行つてきた野鳥観察とフクロウの保護活動について、地域の方々にも知つていただきたい機会になりました。(五年 王生彩花)

## 子ども達の感想

二月五日、座光寺地域文化祭において小学校学習発表会と麻績の里体験学校発表会が開催されました。

小学校学習発表会では、座光寺小学校四年生が、飯田の伝統産業であるお菓子産業についてと座光寺地域の史跡・旧跡について、五年生が座光寺地域の野鳥観察とふくろうの保護活動について学習発表をしました。資料の調査だけではなく、子供達が実際に現場取材をしたり、野鳥の生息分布調査をしたり保護活動を実践したりと、それぞれに内容の濃い発表でした。スライドを使いクラス全員が参加しての発表は、見る側も楽しく一生懸命さが伝わりました。

二月五日、座光寺地域文化祭において小学校学習発表会と麻績の里体験学校発表会が開催されました。

小学校学習発表会では、座光寺小学校四年生が、飯田の伝統産業であるお菓子産業についてと座光寺地域の史跡・旧跡について、五年生が座光寺地域の野鳥観察とふくろうの保護活動について学習発表をしました。資料の調査だけではなく、子供達が実際に現場取材をしたり、野鳥の生息分布調査をしたり保護活動を実践したりと、それぞれに内容の濃い発表でした。スライドを使いクラス全員が参加しての発表は、見る側も楽しく一生懸命さが伝わりました。

## 自治会報告

### 基本方針 基本計画の見直し

平成十九年度より、基本構想、基本計画が作成され、新しい自治組織として進めてまいりましたが、二十三年度は五ヵ年を経過し、見直しと、

今後の新たな取り組みの検討を六つの部会で真剣に、検討を始めています。残りの五ヵ年は、座光寺地区にとって、かつて無い大きな変貌を迫られて来ています。

リニア新幹線の如く、あつという間に過ぎていくと、考えられます。私たち、そんな変革に押し潰される事なく、将来の座光寺地区を、今以上、それ以上に、住みやすい地域として、守つて行かねばなりません、その為にも、後期五ヵ年の、見直しは、皆で知恵を絞り出して、各部会で検討しています、座光寺の歌の一節にも在りますように、「時代は来たり新生の此の郷に声あげて」共に座光寺地区を、作り上げて行きましょう。

### 第一部会

牧内 幸雄

心通い合うふれあいの里づくりのテーマの見直しの議論を進めました。女性や若い人達の参加もあり、活発な提案等で進んでいます。その中で過去五年間の取組を評価し達成度の数値化がありますが、中々難しく、議論も多々あります。

又、近年の少子高齢化の兆しが当地域にも現れ始め、各地区の人口の減少あるいは増加による地区人口のバラツキがあり、各地区の役員選出、河川の清掃等で、地区のプロツク化も必要との結論に至りました。

部会の若い方から、地域で活動している団体等の会員の募集等、啓発に努めてもらいたいとの要望があります。

今村 作衛 第一部会  
地区の人口の減少あるいは増加による地区人口のバラツキがあり、各地区の役員選出、河川の清掃等で、地区のプロツク化も必要との結論に至りました。



### 第四部会

横田 隆司

もっと元気に、安心して暮らせる里に!!

『支え合う絆を広く強く』

『快適で安心・安全なやすらぎの里づくり』の見直しを進めている第四部会では、福祉・健康・環境衛生・防災への四年間の取り組みについて二十五項目の五段階評価を、

A「4」、B「9」、C「5」、D「0」、E「2」とみて、おおむね達成

できだと評価した。しかし、誰もが集える公共施設の開放と

バリアフリー化への具体的な取り組みは迫られている。基本構想、基本計画が見直されても、自助・自己の命(健康)は自分で守る、共助・隣近所・地区の支え合い助け合い、公助

・自治会や各種団体、市・県・国の援助、三助の具体的な活動と事業の連携が不可欠である。

### 第六部会

佐藤 英男

通過場所はまだ未定ですが、スマートインターチェンジ設置については早期の段階から地元の意見反映を働きかけていきます。

日常生活や自然災害発生時に於ける最も重要な社会基盤である道路整備が十分でないことを痛感しました。

上段から下段を結ぶ路線は唐洞線、稲荷坂線、万才線などありますが大型車の通行できるのは万才線だけです。しかも国道一五三号線には、市道県道を経由しなければならないのが現状です。また、県道市場桜町線も大型車の通行が困難で早急な改善が求められます。

### 第五部会

原田 寿

○リニアを見据えた里作り

私達は、地域の特性が光る活力ある産業の里づくりを見直し、検討しています。突然、下市田から座光寺にかけてリニア中間駅が出来ると新聞で報道され、住民は困惑していります。健全な土地があつての

里づくりです。

スマートインターチェンジ設置については早期の段階から地元の意見反映を働きかけていきます。

## リニア始動へ

自治会長 湯澤 英範

長野県知事は、二月二十四日J.R.東海に対し、環境アセスに関する意見書を提出した。これは座光寺地域自治会が、昨年十一月、七項目に亘る環境アセスへのパブリックコメントとして意見を提出したが、これ等の住民意見に配意しつつ、市町村意見を勘案して提出されたもので、これでJ.R.東海では、現地調査を本格的に始動するものとみられる。

近々、何らかの形で調査依頼があるものと思われるが連絡があり次第、適切に対処し情報の共有を図つて参ります。また、懸案の具体的な駅位置やルートは、遅くとも来年の秋には示される模様。

一方、飯田市でも、リニアに関する議論が進んでおり、市議会で開催される議論を検討するロードマップ（工程表）を発表した。

このようにリニア建設に向けての足音が徐々に高くなってきた。この状況を踏まえて、自治会は、三月二日の地域振興会議で、リニア建設に向けての進展に的確、迅速に対処して、地域づくりに万全を期

するために「リニア対策特別委員会」を四月に設置する事を決定した。

この委員会は、新幹線の先進事例等の視察などから良い例や悪い例の情報を収集し、これ等を基にリニアの駅を見据えた地域づくりについて語る会や講演会などを開催して、地域としてのあるべき方向性を探ろうとするものです。

委員構成は、自治会、各種団体や産業界から委員を募るほか、若い層や女性からも委員を選出していく予定。

区内のお年寄の交流も考慮した、買物の帰途、おでかけクラブに登録した方が二人以上で利用した場合に、補助が出る仕組みとなつており、会員同士がお互い顔見知りでなければ、行動を共にしづらいことが、利用者増につながつてないことが考えられました。

そこで、新年度では、親睦会を何回か実施して、親密な関係が築けるようにと、計画を立てています。親睦会を実施することによって、買物クラブ員の利用者増と、お年寄り同志の交流の和が広がるよう手助けができると考

このほか、リニアについて関心ある方に積極的な参加を期待して公募委員の募集をいたします。我と思わん方は是非ご応募ください。

リニアという巨大プロジェクトは、地域環境を大きく変貌させることは必至であるだけに、単に浮かれているようことは出来ず、腰を据えて、あるべき地域の姿について検討や議論をして、都会の人が飯田の地に降りてみたいと思うような魅力ある地域と共に築いて参りましょう。

リニア中央新幹線の中間駅が座光寺地域にできた場合、大きな変化があり、後利用の考

## 飯田工業高校、校地の後利用について

自治会 長沼 春雄

平成二十五年三月に、飯田工業高校は閉校となります。

県としての基本的な考え方として、校舎は築二十五年で耐震性を有しており、利用価値が高いために取り壊しせず、閉校後早い時期に全体活用を行い、分割譲渡は行わないと言ふ考え方です。

リニア中央新幹線の中間駅が座光寺地域にできた場合、飯田市側の積極的な動きを期待しています。

あの広大な高校の後利用について座光寺だけでなく、飯田市側の積極的な動きを期待しています。

飯工跡地利用について  
「住民の声」

子供からお年寄りまでが集うことのできるスポーツ・文化施設として地域の中心の場所になると良いと思います。（四十代女性）

リニア開通に伴い跡地は、重要な位置にあります。農業とともに、この豊かな農産物を各地に届ける道の駅としての活用、とにかく跡地利用が正の連鎖を生むことを願います。（六十代女性）

一、高齢者が、体育館でスポーツが出来る。  
一、子供と老人の交流場所。  
一、子供達の遊び場に利用。  
一、購買車を使って、老人に商品を提供する場に利用。（二十代男性）

え方も多大な事になると思う。当面の活用策として、飯田校舎として利用する。この件について自治会として、女子高校の校舎、校地全体を利用し、座光寺に移つて下さいと御願いに行つてきました。又、飯田養護学校の高等部の分教室として活用する話もありま

す。

# 平成23年度 座光寺地域文化祭

## 地域の絆と文化度を深める祭典

2月4日(土)、5日(日)の二日間にわたり公民館を主会場として座光寺地域文化祭が盛大に開催されました。今年は地域の皆様の発表のみならず、「今村太郎遺作展」名古屋フィルハーモニーの皆さんによる「ふるさとコンサート」等の企画があり、子どもから大人まで楽しめる文化祭となりました。



今年はデコレーション寿司に挑戦



ほほえましい世代間交流



来場者数500余名と大好評でした「今村太郎遺作展」



新旧そろった天狗の衣装





素晴らしい演奏と楽しいお話を  
絶妙なハーモニーを奏でました。

質問する中学生

座光寺小学校金管バンドの演奏



高陵中学校吹奏楽部の演奏



優雅なハワイアンダンス



見事なハーモニーのコーラス



麻績太鼓



そ乃春会



会場が元気いっぱいになった「AKB4+8」の皆さん



認知症について話される  
代田さん

## 地域づくりフォーラム みんなでつくろう安心社会～地域の支え合い～

文化祭一日目、午後四時より  
地域づくりフォーラムを開催し  
ました。

まず、健康福祉委員長の清水  
さんから、認知症について自分  
のこととして具体的に考える地  
域にしたいとの願いから、飯綱  
町と大桑村を事例に、「家族で支  
えるしかない。学習をして正し  
く理解して欲しい」と。また、

「壮年男性が集まる場が欲しい」、  
さらに、「結婚相談については、  
座光寺あげて取り組みたい」と。  
これを受けて、「認知症につい  
て知り支え合える地域にしてい  
くには」について意見交換しま  
した。

- ・老人介護には行きたくないと  
言う。奥さんが見ている。
- ・本人にやる気を出させたいの  
だが。
- この疑問に応えて、地域包括  
支援センターの代田さんから、  
認知症を正しく知るためにお話  
いただきました。「座光寺には約  
二百名の方に認知症状がみられ  
ると認定されている。(認知症の

方は)新しいことが苦手になる。  
やる気の出ない病気。進行を遅  
らせるることはできる。(対する時  
は)おこらないように本人の気  
持ちを大事にして。家にサービ  
スを入れた方がいい。家族を支  
えて本人を支えて、みんなの手  
で本人も家族も幸せになるよう  
にしたい」と。

- ・みんな頼むわと思う。
- ・近所でも言つてもらわんと。

これを受けて、「みんなが支  
え合い助け合う地域にしていく  
には」について話題を進め、高  
岡歌笑会の松澤さんから話して  
いただきました。「近所の方が集  
まつて交流できるといいなあと。  
みんなで心から笑いたい歌いた  
い。声をかけたが、できるまで  
かけたが、返事はなかつた。一  
声がきつかけで二グルーピででき  
て、今は男性も入つて四グルー  
プできている。」

- ・好奇心、物好き、関心を持つ  
たい。座光寺には知識の深  
い方々がいるから。
- ・楽農隊、楽しいことをやろう。  
目標を持って。
- ・退職しても、生涯現役でいたい。  
人と人との付き合いが大事。活  
動を起こすきっかけを。

- ・山ぶどうの会、みんなで楽し  
んでいる。
- ・地域での支えの他に、家族の  
支え自分の自立が大事。一番  
身近な夫婦の支え合いを。
- ・若い人と交流できるといい、人  
間関係が新鮮で楽しい。

次々と思いを語つていただき  
ました。ありがとうございます。  
ひとりが今から自分ができるこ  
とを取り組んでいきたいものだ  
と思いました。

(運営委員長 塩澤哲夫)

## ふるさとコンサート 過ごした時間



座光寺小

学校金管バ  
ンドは馴染  
みのある曲を  
元気よく演  
奏してくれま  
した。続く

高陵中学校  
吹奏楽部の演奏は堂々としてい  
てとても素敵でした。地域の自  
慢の小中学生です。

「オケ友」のご縁で駆けつけて  
下さったのは名古屋フィルハー  
モニー交響楽団金管アンサンブ  
ルです。間近でプロの生の音楽  
(それも座光寺のために演奏され  
ています!)を聴く素晴らしい

ファイルの伴奏で歌うという前代  
未聞の経験もできました。団員  
の方々は中夜祭にも参加され、  
乾杯のための高らかなファン  
ファーレと演奏に参加者一同酔  
いしれたのでした。

(文化部 北原尚美)

## 今村太郎遺作展に 係わつて

係として、遺作展に係わる機  
会に恵まれました。「萌え」な  
ど、作者の温かく優しい心の表  
れた素晴らしい作品と、故人を

取り巻く人々の大きな輪に包ま  
れ、とても心温まる時を過ごさ  
せていただきました。

また、市田柿の生産者として  
のみ存じ上げていましたが、こ  
のようなく素晴らしい作品を残さ  
れていたことを知り、もうお会  
いできないことが無念でした。基  
本構想の「満開の麻績舞台桜と  
舞台校舎の表紙絵」是非残して  
いつて頂きたいと思います。

皆様と共有できる  
祭典を目指して

文化部 部長 藤田 明彦

高齢者の心身  
の健康と生きが  
いづくり活動の  
実践



座光寺の歌の普及活動と東  
日本大震災支援チャリティー  
コンサートの開催

コール・ブリランテ様  
株アイ・コーポレーション様  
五年にわたる、自社周辺と  
地区内の清掃美化活動の実践

## 種まき大賞受賞式 麻績の里

今年度は以下の皆様が受賞  
されました。

(社会部 柳原美智子)  
がんに冒されながら、緻密な  
絵を描き続けたものすごい精神  
力を感じました。自己の生死を  
超越したところに生まれた作品  
に打たれました。(矢沢通則)

中学校がコラボした『ふるさ  
とコンサート』、『今村太郎遺作  
展』、福祉を考える『フォーラ  
ム』等、充実した内容にと考え  
て参りましたが如何でしたか?

これからも皆様の意見、要  
望等を取り入れ、実のある多  
くが共有できる祭典を目指し  
します。

## 健康教室に 参加して

六十代が間近に迫り「健康」のありがたさ、大切さを真剣に考えます。と云うのも私は夢や目標があるからです。その実現には健康である事がいかに大切であるかを、先輩諸氏を見ていて実感しています。

「生活」とは活き活き生きる事。目標に向かつて努力する事が、生きがいある人生を送つたと云えるのではないでしょうか。私は活き活きとした人生をおくりたい。

健康に関する情報は巷にあふれています。でもこちらに受け皿が無ければ、ただのたれ流し。適度な運動とバランスの取れた食事を腹八分目いただく：理屈でわかつていても実行となると私には難しいテーマです。そんな時に健康教室の開催を知りさつそく参 加いたしました。

最初は健康診断の結果表の見方からです。B.M.I、腹囲、高血圧が何故いけないのか、善玉、悪玉コレステロール、中性脂肪、血糖値、尿酸値、G.O.P等々…。数値が基準値の中にあっても一体どのくら

いの位置なのか、改善に向かっているのか、危険値に向かっているのかという自分の身体の変化を読み取る事が大事だと教えていただきました。食べた物が血となり肉となり私達の身体を造つてている事を再認識した訳です。

そう考えると私の食生活は夫と息子二人、丸ごと体育会系の三人の食欲に合わせて大皿料理が並び、ガツガツものすごいスピードで食べる毎日、股関節が悪く陸上運動を殆ど出来ない私なのに、食生活だけは三人と一緒にサッカー選手並みでした…。

息子達が巣立つても一度ついた食習慣のリセットはなかなか出来ません。ダイエットとりバウンドを繰り返した三十年。活き活きとした六十代を過ごす為には、はやり食慣もりセットしなければと思いました。

そんな中で迎えた調理実習は、私は四十年ぶり：ワクワク気分です。材料は全て分量分が用意されカットするだけ。調味料を計りながらレシピに首つ引きで調理します。

私が一番驚いたのは、全ての材料量がとても少ない事、玉ねぎ、長いも等、僅かな量

なのに出来上がりはしつかりとあります。私の目分量料理がいかに大きさっぱで、ものすごく量を食べていたと実感。味付けも薄味なのに酢、しょうがが効いており、旨味調味料を多用していた事を反省。

最近、「タニタ食堂」「女子栄養大学の学食」が有名ですね。メタボ社員の激減と周辺住民に人気の学食だとか。私は座光寺でも是非健康になる料理教室の定期的開催を希望します。やはり数字のみではなく自分の目や舌で、自分に必要な食事の量と味付けを学びたいと思います。繰り返し繰り返しする事で習慣になるのではないかでしょうか。もう若くはありません。ガツガツ食べるのは辞めようと思います。

又、私が生きる為に命を捧げてくれる食べ物達に「ありがとう！いただきます！」と感謝しなくてはいけないと気付かされた健康教室でした。

最後になりますが、教室を企画して下さった保健師の塩沢さん、栄養士の中田さんの二人に感謝申し上げます。

(健康福祉委員 松原)

## 笛声

投稿欄

### 笛が結ぶ縁



麻績神社の氏子が集う春祭りが、今年も若連中の獅子舞を中心が始まるとしている。いつも、若連中の先頭に立つ方は、昨年末から、その準備に追われ、その御尽力によつて実現する多くの手間ひまの掛かったお祭りである。十五年前、縁あって座光寺に移り住んだ私に壮年団へのお説きをいただき、この春祭りに氏子の一人として参加させていただく事になった。どのように慣れ親しんで行けば良いか分からぬ時に、家族丸ごと受け入れていただけた気がして嬉しかつた事を、今でも忘れる事はない。壮年団卒業後も、笛俱楽部の仲間にしてもらつて、引き続き春祭りに顔を出させていただいている。笛俱楽部は、越子獅子を始めとする計七曲を場面に応じて吹き、春祭りに花を添える屋台ばやしを担当集まりである。大人十人程に子供十人程で、春祭りの約一ヶ月前から顔を合わせ、にぎやかく練習を始め、祭りに向けて仕上げていいく。練習する七曲は、それぞ

れ違うものの、似たフレーズが多くあり、覚えているつもりで、不思議なぐらい度忘れする事が、やつかいな処である。そんな時には、子供達に教えてもうう事にしている。教えた子供が正確に覚えていてくれて、目を輝かせて教えてくれる。嬉しい事だ。たのもしく想う一時である。

昨年のちょうど今頃、東北地方に襲来した地震と津波によって、日本中から笑顔が消えた。どんなに便利になつても、操る事ができない物、だらけである事を改めて知られ、被災映像が続々テレビ画面を見る事がつらかつた。あれから一年がたつ。天変地異を始め多くの事柄は、産土神に頼るしか何も仕様がない事を思い知った今、昨年の秋祭りに続く今年の春祭りで、氏子の無病息災を深く願つて、将来を担う子供達の健やかな成長を祈つて、微力ながら笛の音を奉納したいと想つていて。子供達に時々教えてもらひながら。

(船田)

No. 12

## 「地域の歴史にふれる」—シリーズ— 郷蔵と制札場

江戸時代に年貢米を村毎に保管する「郷蔵」という倉庫がどの村にもありました。座光寺には現在の麻績神社大鳥居の北側にありました。文久二年（1862）の座光寺村の絵図（松村淨氏所蔵）によると、道路側に石垣があり、中間に木戸があり木柵で取り囲んでいます。奥に平屋の建物があります。これが「郷蔵」です。石段左側に木柵を設けた制札掲示板があり、その左側に大きな石碑が二基建っています。秋葉山大権現・金比羅大権現の石碑であります。

「郷蔵」というのは村中から納めた年貢米を収納する蔵で、藩からの指図に従つて藩士宅や商家へ届ける仕事が半年以上続きますので村役人の仕事は大変でした。鼠の駆除・雨漏りの防止等度々行われています。いつ頃建設されたかは分かりませんが、今村家の古今重寶記によると宝曆二年（1752）建築で、四間と八間の建物と書かれています。この前の広場は、殿様から下付されたお酒の披露とか村中の集

合場所に使われたようです。とくに、元治元年水戸浪士の通過の時は、村人が大勢待機していました記録があります。

明治になつて「制札」は取り外されました。明治八年上郷村に合併され、座光寺耕地の伍長会記録に郷蔵のことが書かれています。明治十年修復普請を計画したり、明治十三年には売り払いの話も出ています。明治十五年に上郷村からの分村が決まり、明治十六年に戸長役場が新築されました。その時、郷蔵は北側へ移転したと思われるますがはつきりしません。火消組の集会所として使



現在は宮の前会所となっています

### 史跡保存ゾーンに新たに八基の説明看板

正倉跡、正倉区画溝跡、和銅銀錢出土地、「厨」出土地、「館」跡、藥師堂、五輪塔と宝篋印塔、恒川清水

今迄の恒川遺跡群発掘で税館、食事をつくつた厨と「伊那郡衙」の形が分かつてきました。中心の政庁は未確認ですが十六基、幅約三尺の溝址



が見つかりました。政庁ではないかと夢が膨らみます。「歴史に学び地域を訪ねる会」「恒川清水を学ぶ会」では、恒川遺跡群を中心にして八基の説明看板を立てました。

昨年の高岡古墳群看板と合わせて十四基となりました。巡回コースを整備し、史跡保存ゾーンとして後世へ守り伝えたいと考えています。

もうすぐ「舞台桜」が咲き始めます。今年は、例年より冬が寒かつた。桜が咲くのが、待ち遠しい。ここ数年「石塚桜」とあります。いままで満開の時は、ねやねやになる。十年前には想像がつかなかつた混雑ぶりである。

私が小学校に通つていた頃は、枯れそうな弱々しい老木だつたのに、色々な方のご尽力によって勢いのある桜になった。座光寺の大切な『宝』である。公衆場（旧郷蔵）が取り壊されたと思われますが、詳しいことは調査中です。（今村善興）

ある方から聞いた話だが、昔ある皇族がこの辺りを訪れる事があり、ちょうど桜の時期だつたので麻績の桜を見ていかれたとのことだ。当時の桜も今と違わず、素晴らしい

桜だつたのであろう。しばらく桜を楽しむと帰路につかれた。しかし車中で桜を思い出し、もう一度見ておきたくなつたらしく、わざわざ引き返して来て桜を見て行かれた。

それだけ強く心に残つたことである。

『桜』だつたと言つことだらう。その出来事が噂になり、その当時「御車返しの桜」と呼ばれたようである。

少し、誇らしい話である。

もうすぐ「舞台桜」が咲き始めます。今年は、例年より冬が寒かつた。桜が咲くのが、待ち遠しい。ここ数年「石塚桜」とあります。いままで満開の時は、ねやねやになる。十年前には想像がつかなかつた混雑ぶりである。

私が小学校に通つていた頃は、枯れそうな弱々しい老木だつたのに、色々な方のご尽力によって勢いのある桜になった。座光寺の大切な『宝』である。公衆場（旧郷蔵）が取り壊されたと思われますが、詳しいことは調査中です。（今村善興）

ある方から聞いた話だが、昔ある皇族がこの辺りを訪れる事があり、ちょうど桜の時期だつたので麻績の桜を見ていかれたとのことだ。当時の桜も今と違わず、素晴らしい桜だつたのであろう。しばらく桜を楽しむと帰路につかれた。しかし車中で桜を思い出し、もう一度見ておきたくなつたらしく、わざわざ引き返して来て桜を見て行かれた。

### 編集後記